

運動会の作文紹介

6月1日（土）に実施した運動会を終えて、感じたことを作文にしました。今回の運動会は1年生の時に比べ、行事を通して感じたことや学んだことに大きな成長が見られました。第7号では運動会の作文を紹介します。

「運動会を終えて」

僕は運動会実行委員として今回の運動会を迎えた。2年生が行った3つの種目で自分が感じたことや頑張ったことがたくさんあった。

1種目は大縄だ。最初の学年種目の時、男子は5回も跳ぶことができなかった。この先がとても不安だった。それでもクラスのみんなの意見をたくさん聞いて、それを元にとにかく練習した。時にはぶつかることもあった。でも、みんなで声を出して団結した。そして最後の学年練習、新記録の72回を出すことができた。本番は中々良い結果を出すことができなかったが、クラスの成長を感じられてうれしかった。2種目は学年種目であるUma Eatsだ。実行委員なので、自分で騎馬を作った。人数のことやうまく進めるかなどを考えたのでとても大変だった。騎馬が作れても、騎馬が安定しなかったり、箱を落としてしまったりした。それでも、必死に声をかけたり、何度も箱の向きや持ち方を試したりして、うまく持ち運べられるようになった。本番では最下位だったけど、クラスの団結力が感じられた。最後はリレーだ。Uma Eatsと同様、リレーも自分たちで、クラスで出た案を参考に走順を考えた。バトンパスのことなどを考えて決めるのが難しかった。最初の練習では、バトンを受け渡しのタイミングなどが中々合わなかった。それでも、バトンパスをする前後の人と話し合ったり、陸上部の人たちからコツを教えてもらったりして、たくさん練習した。本番では一位をとることができた。クラスの努力が報われてとてもうれしかった。

僕は実行委員として運動会を終えて、大変なこともあったけど、大きな達成感を味わうことができた。またクラスでは、順位をこえて団結力を深めることができた。この運動会を生かして、これからの学校生活もみんなで助け合い、一致団結して過ごしていきたい。



「運動会で学んだこと」

僕が今回の運動会で学んだことは、3つあります。1つ目は、フェアプレー精神です。運動会は、他の5クラスがいるから開催でき、とても盛り上がる運動会ができると感じました。また、堺中学校のような中学校だからこそ、大勢の保護者の方や大勢の歓声があるということも感じました。フェアプレー精神を意識することで今回のようなルールを守り、互いが高めあうことができると学びました。

2つ目は周りへの感謝です。今回堺中学校で運動会をする上で色々な人が取り組んでくれたり、協力していただきました。運動会実行委員や先生方、堺中周辺の地域の方々など様々な人の協力や取り組みがあったからこそ今回のような運動会を実施することができたと思いました。今回のような行事ごとには、様々な人の協力があったからこそできたということへの感謝の大切さを学びました。

3つ目は、クラス全員で協力し合うと一体感が生まれるということです。2か月しか経っていないのに、今回のような運動会をできたのは、朝練習や昼休みの練習などもありますが、一番はクラス全員が同じ目標に対して行動をしていったからだと感じました。大縄などで失敗してもアドバイスなどをし合い、今回のような行事ができると学びました。今回学んだフェアプレー精神や感謝、協力し合う一体感は、今後の行事など学校生活で生かしていきたいです。

「運動会で学んだこと」

今回は昨年と違って、一年生の後輩たちが来て初めての運動会です。後輩の手本となるような、今まで以上に活気のある運動会にできたと感じています。そう感じるのは、今年の運動会の活動の中で、3つの学びを得たからです。

まず1つ目は応援です。私は励まされたりして「頑張れー！」や「いいよー！」などという掛け声があったから頑張ることができました。あの時、応援されて嬉しかったので来年は私も掛け声や応援を積極的に行いたいと思います。

2つ目はアドバイスをし合うことです。これをするによってお互い何を直せばいいのか、何をすればよかったのかなどを知ることができるからです。この事によって本番に「〇〇した方がいいよ」などとアドバイスされたことに気をつけると競技の順位が上がり、クラスとの関わりをより強めることができるのだと思ったからです。

3つ目は協力し合い、一致団結することです。一人では行うことが難しいことも、みんなで助け合うことによって簡単に素早く成し遂げることができます。また、クラスとの絆をより深めるという効果があるからです。

運動会を通じて学んだ3つのことは、中学校の学校生活を充実なものにできる要素だと思います。運動会に限らず、学校生活を送る上でも、どれも欠かせない重要な要素だからです。私はこの要素を忘れずに、今後の活力ある学校生活にしていきたいです。



「運動会を終えて」

僕は、運動会を終えて学んだことがあります。それは、物事に対してみんなで協力し、一生懸命がんばることの素晴らしさです。

この学校に来てから初めての大きな行事であり、他のみんなもクラスが変わって日が浅く、慣れ切ることができていないんじゃないかと最初は不安に思っていました。しかし、練習が始まるとその不安もなくなっていきました。なぜなら、練習中の声掛け・応援や、どうしたらもっと良い動きをすることができるのか、勝つことができるのかなどをみんなで話し合ったりして、クラス一丸となって運動会に向けて全力で取り組んでいたからです。それに僕は感銘を受けて、さらに練習をがんばろうという思いになりました。

本番では、残念ながらどの種目でも1位になることができなかったけれど、これまでの練習の成果を発揮することができていたと思ったし、最後まで諦めずにどの競技も全力で取り組み、全力で応援することができていたのでとても良い運動会になったと思いました。

競い合うからには、勝利することが一番大切だと思いますが、僕は競い合うために積み重ねてきた練習や日々の努力というのもとても大切なものだと思います。なので、来年の運動会でもみんなと積み重ねた練習と努力を大切に、1位を目指してがんばっていこうと思いました。



「運動会を経て」

僕はこの運動会を経て、クラス全員の応援や協力しようとする思いやりの心が育ったと感じました。そう思う理由は3つあります。

1つ目は全員リレー、選抜リレーの応援です。全員リレーでは走る前も走り終わった後も応援の言葉が絶えなかったことや、バトンを渡す時にしっかりと大きな声で言うなどの思いやりの心が見られました。選抜リレーでは、1年2年3年と全員のチームを全力で応援しており、特に2年生の時は皆、口を大きく開けて耳が壊れるのではないかというくらいの音量で、必死に応援していて、とても成長を感じられました。

2つ目は、全員リレーで自分のチームだけを応援するのではなく、他のクラスも全力で応援していたところに思いやりの心を感じました。

3つ目は、Uma Eats や大縄跳びでの諦めない心です。大縄跳びの時、一番最初は13回しか跳べず、みんなが危機感を覚え始めていました。しかし、みんなが何回も練習を重ね、一人ひとりが本気で頑張ったことで、合計56回までも記録を伸ばすことができました。Uma Eats でも、試合を開始した際、スタートダッシュが遅れた時も、一人ひとりが諦めなかったことで2位にまで追いつくことができました。

運動会があったことで一人ひとりが協力し、諦めず、思いやりの精神を持つことができたの

で、とてもよい運動会になったと思いました。

「第67回運動会」

私は中学2年生で、大切な事に気が付きました。

私は今年、F組の皆との協力のおかげで準優勝を勝ち取る事が出来ました。しかし、私は順位だけが全てではなく、そこまでの過程が大切だと感じました。1番はじめはなかなか息が合わず、大縄で引っかかったり、バトンパスでつまったりと沢山の苦労があり、皆で沢山の作戦や話し合いを行って来ました。練習を行う過程で、学年練習がありました。

学年練習は2学年全体の人に参加し、そこでは入場の形や学年全体で競技を行うなど、本番と同じような練習を繰り返しました。その時でも皆で協力し、掛け声や応援、助け合いや励まし合いなどを行い、皆で頑張りました。

今年は昼休みという限られた時間で、大縄の練習をすることが可能になっていました。昼休みで練習出来る際に、女子皆でどうしたら長く跳び続けることが出来るのか、跳び続けるために掛け声の工夫や立ち位置など、沢山の工夫を重ねてきました。

私は今年リレーの選手に選ばれ、朝練がありました。朝練でも、当たり前のようにクラスのメンバーと協力し合い、走順を変えたり、バトンパスを沢山練習したりと、全てにおいてクラスのメンバーと一緒に努力をしました。

来年は中学校生活最後の運動会になります。私は今年のように順位だけをすべてだと思わないで、練習の過程を大切にしたいです。



【7月の予定】

- 1日(月) ⑥カット、一斉委員会
- 3日(水) ⑤キャリア学習、保護者会
- 5日(金) 漢検
- 8日(月) 朝礼、イングリッシュフェスタ
- 9日(火) 避難訓練、さくら学級小中交流会
- 10日(水) ⑤進路説明会
- 12日(金) ⑥カット
- 17日(水) さくら学級陶芸教室
- 18日(木) ⑤⑥大掃除
- 19日(金) 終業式、昼食なし、④⑤⑥カット
- 22日(月)～26日(金) 教育相談

7月3日(水)は、5校時(13:20～14:10)にキャリア学習として、先日実施したレディネステストの見方について講演会があります。

